

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月26日		記入者		連絡先 3173
部 名	環境保全部	課 名	みどり対策課	課長名	隅河内 司
事務事業名	保存樹林・樹木奨励金				
予算上の事務事業名	保存樹林・樹木奨励金				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	22320	
基本目標	Ⅱ「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第2章 水やみどりの保全と創造に努めます				
基本施策名	第3節 みどりの保全と創造				事業開始年度
施策名	第2施策 身近なみどりの創造				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市緑化条例（昭和47年条例第29号）、相模原市緑化条例施行規則（昭和47年規則第41号）				
3 個別計画の概要			概要		
計画名	さがみはら・みどりの基本計画		計画中、「5.みどりの保全と緑化を進めるための施策」で樹林・樹木の推進、支援について進めるもの		
計画年次	9	年度～	27	年度	
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）			(2) 対象（誰、何）		
「保存樹林・保存樹木」制度は、市民が健康で快適な生活を営むことができる環境を確保するため、市街地の名木・古木や貴重な樹林を対象に、所有者と協議（理解と協力を得る）しながら指定し、保全するもの。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存樹林</li> <li>・保存樹木</li> <li>・土地所有者</li> </ul>		
(3) 平成17年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。					
相模原市緑化条例・同施行規則に基づき、指定している樹林・樹木に対し、所有者との協定により奨励金を交付した。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存樹林奨励金 30,301,700円（41箇所、33人）</li> <li>・保存樹木奨励金 586,800円（163本、67人）</li> </ul>					
6 関連・類似事業や他市の状況	保存樹林・樹木制度は他市においても実施されているが、所有者への支援内容は各市で様々である。主な助成内容としては、樹木については、年額の奨励金と、樹木診断及び治療に対する助成とがあり、樹林については固定資産税及び都市計画税相当額を助成対象としている場合と、面積あたりの定額助成をしている場合がある。				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	31,727	30,850	30,889	31,000	31,000
一般財源	25,757	24,321	23,534	28,000	28,500
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	5,970	6,529	7,355	3,000	2,500
人件費の合計	267	269	269	269	269
事業コスト合計	31,994	31,119	31,158	31,269	31,269
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	保存樹林・樹木奨励金			対象名称と単位	交付金(円)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	31,727	30,850	30,889	31,000	31,000
対象数	206	215	204	205	205
単位あたり経費(円)	154,015	143,488	151,417	151,220	151,220
前年度比		0.93	1.06	1.00	1.00

9 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの					
指標名と単位	指定対象増減率	指標式と指標の説明	本年度箇所数・本数÷前年度箇所数・本数×100 指定箇所及び本数の増減により、指定のニーズを見る		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	206.0	215.0	204.0		
目標	202.0	206.0	215.0	210.0	210.0
目標達成度(%)	102.0	104.4	94.9		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	緑地確保率(%)	指標式と指標の説明	本年度指定保存樹林面積÷平成27年確保目標面積×100 基本計画で設定した緑地確保目標量(41.20ha)達成状況		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	6.3	6.7	6.1		
目標	41.2	41.2	41.2	41.2	41.2
目標達成度(%)	15.3	16.3	14.8		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
C	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		昭和47年市緑化条例により実施してきたが、保存樹林については、緑地保全のための担保性が低く、保存樹木については、合併後の市全域の中から新しい視点で選考・支援していく必要がある。 したがって、現行制度の見直しを進めるものである。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 保存樹林については、長期保存の必要性や市の支援と担保性のバランスを評価し指定していく。 保存樹木については、市全域を視野にするとともに、市民意見を十分反映させた選定方法を採用する。			14 課題として認識されたこと ・相模原市みどりの基本計画の改定(H21.4)との調整を図る ・根拠条例:相模原市緑化条例・規則の改正		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		事業所管課の課長による評価(今後の方向性)のとおり、見直しとする。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			